

平成 25 年度 第 192 回教育研究審議会議事要録

日 時 平成 25 年 10 月 22 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 15
場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 近藤学長、松尾副学長、梶原副学長、漆原副学長、井村事務局長、伊藤外国語学部長、柳井経済学部長、佐藤文学部長、山本法学部長、眞鍋地域創生学群長、龍国際環境工学部長、中尾基盤教育センター長、田村慶社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、小野学生部長、田村大教務部長、岡本都市政策研究所長、木原国際教育交流センター長、田島入試広報センター長、隈本情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、廣渡評価室副室長

配布資料

- 1-1 教員採用選考報告書 (外国語学部)
- 1-2 教員採用選考報告書 (文学部)
- 2 「(仮称) 北方・ひびきの連携事業運営委員会」の設置について (案)
- 3 平成25年度前期学友会交渉申し入れ書回答案 (最終版)
- 4-1 社会システム研究科の教育改善について
- 4-2 社会システム研究科博士前期課程の教育改善について
- 5 2013年度1学期早期支援システム実施結果
- 6 平成26年度サバティカル取得申請における結果報告
- 7-1 認知度向上プロジェクトの進捗について
- 7-2 朝日新聞社『大学ランキング』の評価推移 (2006~2013)
- 7-3 大学ブランドイメージ調査2012-2013 日経 B P コンサルティング調査
- 7-4 ロゴマーク (他大学事例)
- 7-5 認知度向上プロジェクトの進め方
- 7-6 SWOT分析・ブランド3要素の再定義に関するコンサルテーション

第 1 号 教員の採用について

* 資料1-1 (pp. 1-6) のとおり、外国語学部の英語教育担当教員採用人事について、選考委員会から採用候補者 (雪丸尚美氏) の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

- 教員資格選考調書の教歴期間の換算について、T A の期間の換算の考え方を説明してもらいたい。
- 今回の採用候補者については、T A としてだけでなく、オーバードクター期間において T A に従事し、担当予定科目と関連する高度の学術的研究を行っていたことを鑑みて判断したものである。
- 教育研究業績中、同一主題のものは研究業績としては1つと数えなければならないのではないか。
- ご指摘の箇所を確認し、必要があれば教員資格選考調書の研究業績を改めたい。なお、この修正によって准教授資格への影響はない。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

* 資料1-1 (p. 7) のとおり、外国語学部のアメリカ研究担当教員採用人事について、選考委員会から適切な資格条件を持った候補者の選定に至らなかった旨を報告。

- 担当分野等を見直した上で、再度欠員補充申請を行う予定である。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

* 資料1-2のとおり、文学部の日本現代文学・日本現代文化担当教員採用人事について、選考委員会から採用候補者 (河内重雄氏) の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

- この教育研究業績書においても、同じタイトルのものがある。同一主題のものは1つと数えなければならないのではないか。
- ご指摘の箇所を確認し、必要があれば教員資格選考調書の研究業績を改めたい。なお、この修正によって准教授資格への影響はない。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第2号 （仮称）北方・ひびきの連携事業運営委員会の設置について

* 資料2のとおり、（仮称）北方・ひびきの連携事業運営委員会の設置について提案。

- 平成25年度に始まった「北方・ひびきのキャンパス交流Day」について、科目の履修や交流に関する学生の満足度等の問題点を全学的に検討するため、「（仮称）北方・ひびきの連携事業運営委員会」を設置する。
- 委員会では、年内を目途に来年度の実施方針をまとめる予定である。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 学友会交渉申入書回答案について

* 資料3のとおり、学友会交渉申入書回答案について提案。

- 第189回教育研究審議会（平成25年9月10日開催）で示した回答案に対する部局からの意見を取りまとめた結果、学内のインターネット環境に関する回答案を修正した。本日の教育研究審議会で承認後、学友会に回答したい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 社会システム研究科博士前期課程の学位授与方針及び教育課程編成・実施方針について

* 資料4-1、4-2のとおり、社会システム研究科博士前期課程の学位授与方針及び教育課程編成・実施方針について提案。

- 第14回大学院教育改善委員会（平成25年9月3日開催）で承認された学位授与方針及び教育課程編成・実施方針について、提案するものである。
- 平成26年4月からは、コースワーク制の導入や、履修アドバイザー制度の導入及び研究指導教員の決定時期を変更するとともに、カリキュラムのスリム化も行い、科目数を194科目から128科目へ減じた。
- 博士後期課程については、平成27年度からの新カリキュラム実施に向けて、現行の教育目的や3つの方針の確認・入試方法の検証を行い、今年度内に準備を完了させることとしている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 早期支援システムの実施状況について、資料5のとおり報告があった。
- ② 平成26年度サバティカル取得申請における結果について、資料6のとおり報告があった。
- ③ 認知度向上プロジェクトの進捗について、資料7のとおり報告があった。
- ④ 次回の審議会を11月12日（火）に開催する予定である旨、報告があった。